

何のたまご・・・？



みなさん、明けましておめでとうございます！！

サンペドロデルパラナ市派遣の千葉桃子です。

パラグアイでの活動も残り3カ月を切りましたが、今年も引き続きブログ更新していきます！

早速ですが問題です。

前回の記事でフェア（朝市）について紹介しましたが、そのフェアで販売されている人気商品の一つである、この卵。これは一体何の卵でしょう？？

一見ニワトリの卵にも見えますが、比べてみると、少し小ぶりで先の尖った形をしています。

ニワトリの卵より殻が硬く、思い切り叩き付けないと割れません。

では、親鳥を見てみましょう。



草と瓦礫に隠れていて全く見えていませんが・・・（笑）

正解は【ほろほろ鳥】です。

パラグアイでは Gallineta（ガジネタ）或いは Guinea（ギネア）と呼ばれています。

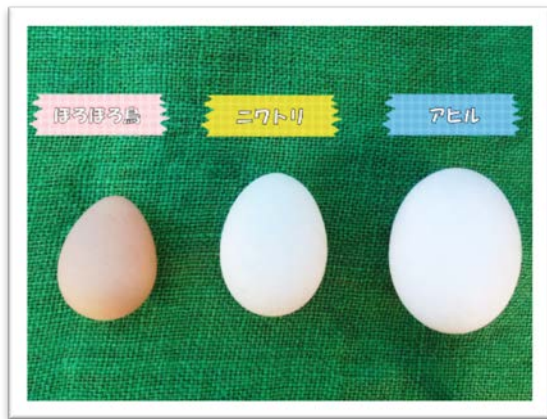
日本ではあまり馴染みのない鳥ですが、こちらでは家畜としてごく普通に飼育されています。

羽毛が黒地に白い斑模様で、頭には毛はありません。

鳴き声特徴的で、番犬ならぬ番鳥？として田舎では活躍しているようです。

また農家曰く、卵の栄養価はニワトリの3倍あるとか、ないとか・・・

実際に食べてみましたが、味音痴の私には少し味が濃いかな？という感じでした。



朝市ではニワトリ、ほろほろ鳥、アヒル、鴨などの卵が販売され、どれも12個入り10,000Gsから12,000Gs（約200円）で売られています。

パラグアイの物価で考えると少々高いですが、自家製たまごは市民に大好評です。

日本国内でもごくわずかですが飼育・販売している農家がいるようですので、興味のある方は是非お試しあれ！